



2012 Vol.54 Spring  
**ACCESS**

～医学生と鹿児島民医連の情報誌～

## 特集

医学生へのメッセージ

～誇り高き人生の出発にYELL～

医学生の歩み

研修医密着取材

## ご案内

- 春の病院実習のご案内
- 鹿児島民医連奨学金制度のご案内
- 桜ヶ丘分室のご案内
- ホームページのご案内
- ブログのご案内



# はじめまして! 鹿児島民医連です

根ざすは地域、  
目指すは世界…



## 国分

国分生協病院  
生協訪問看護ステーションこくぶ

## 川辺

川辺生協病院  
生協訪問看護ステーション万之瀬

## 鹿児島

臨床研修指定病院  
総合病院鹿児島生協病院

鴨池生協クリニック	生協歯科クリニック鴨池
紫原生協クリニック	生協訪問看護ステーションかもいけ
坂之上生協クリニック	生協訪問看護ステーションたにやま
谷山生協クリニック	生協訪問看護ステーションにじ
中山生協クリニック	特別養護老人ホームにじの郷たにやま
吉野生協クリニック	(株)メディコブ

## 奄美大島

奄美中央病院  
生協訪問看護ステーションあまみ

南大島診療所  
生協訪問看護ステーションせとうち  
老人保健施設せとうち

## 徳之島

徳之島診療所  
生協訪問看護ステーションあまぎ

第二次世界大戦直後の日本は、社会全体が荒廃し、飢餓と感染症がはびこり、一方で医師をはじめとする医療専門家や医療機関などの数が非常に乏しい状況でした。

そのようななか、貧困などによりまともな医療に恵まれない人々の切実な願いに応えるべく各地で生まれた医療機関の全国的な集まりが、1953年に発足した民医連全日本民主医療機関連合会です。民医連には、その共通の目標である、綱領(裏表紙参照)があり、その目標をめざして活動しています。特に、患者を経済的な理由で差別しないという方針から、今では当たり前となっている個室料や差額ベット料といったお金を徴収しないなどの取り組みをつづけており、マスコミからも注目されています。

現在、民医連に加盟する事業所は、全国の47都道府県に1700カ所を超え、約6万2千人の職員と、医療生活協同組合員や友の会会員約318万人の方々がともに保健・医療・福祉の総合的な活動安心して住み続けられるまちづくり運動を進めています。

### ○情報誌

#### 「ACCCESSアクセス」の紹介

医学生と鹿児島民医連の情報誌ACCCESSは春、夏に年2回発行されています。鹿児島民医連や鹿児島生協病院などで企画される病院実習や学習会、フィールドワークの案内や医療情勢、社会情勢などのコラムなど幅広い内容を提供しています。医学部の6年間があつという間に過ぎていきます。学生時代にしか経験できないことを思い切り楽しんでみませんか? ACCCESSがその架け橋になれば幸いです。

「民医連」とは…

# 新入生へのメッセージ



総合病院 鹿児島生協病院  
病理診断科 科長 那須 拓馬

## 誇り高き人生の出発にYELL

新入生の皆さん、難関突破おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。これまででは大学合格のため一歩邁進してこられたことでしょうか。今後は興味のあることには何でも挑戦して、思い切り学生生活を謳歌してください。

ただ、皆さんは、すでに医師としての人生のスタートラインに立たれました。それは、厳然たる事実です。研究にせよ臨床にせよ、医師としての人生は、病める人びとに徹底して寄り添うことが義務付けられた人生です。そして、医療における不平等や差別を排除するために活動すること、すなわち社会正義を実現するために努力することが義務付けられた、誇り高い人生です。医学は一生勉強し続けるこ

とになりますが、医師としての基本的な姿勢は、学生時代にしっかりと自らのものにしなければなりません。それこそが、医学生に課せられた任務です。

人生は私たちに日々問いかけています。「あなたはこの状況でいかに生きるのか?」と。その問いにどう応えるか、常に試されています。大学の合格通知は、皆さんへの人生からの問いかけです。「さあ、どう生きる?」と。皆さんがその問いかけに対して、

これからどのように応えてゆくのか楽しみにしています。

私たちは、皆さんの学生生活がより充実した有意義なものとなるよう、手術体験、離島医療体験など、大学の講義とは一味違う体験型の学習企画をたくさん準備しています。また、皆さんの学生生活を経済面からサポートする奨学金制度も設けています。いつでも、何でもご相談ください。お待ちしております。

### プロフィール

1969年生。男性。宮崎県日南市(油津、駄肥)出身。宮崎県立日南高校1987年卒業。宮崎医科大学1996年卒業。鹿児島生協病院・国分生協病院・宮崎生協病院で内科・小児科・外科・麻酔科などを3年間ローテーション研修した後、徳之島診療所で2年間の離島診療を経験。その後、鹿児島生協病院病理科・鹿児島大学病理学第2講座・大阪大学病理病態学教室・東大阪市立総合病院臨床病理科での病理専門研修を経て、現在、鹿児島生協病院病理診断科科长。日本病理学会連合会理事(医学生・高校生担当)。

# 医学生の歩み

## 大学だけではない学びのフィールド

民医連には学生を対象にした学びの場や活動がたくさんあります。大学で学ぶ医学知識だけではなく地域医療の現場や、社会的弱者の存在、それを取り巻く社会の現状を学ぶ事で人間の

幅が広がり、より良い医療や社会の実現に寄与できる医師に成長して欲しいからです。学年を問わずに気軽に参加出来る企画がほとんどです。皆さんの参加をお待ちしています。



4月  
5月  
6月  
出会いの春

### ●健康チエック交流会

医療生協の組合員さん達を中心に、地域の方へ血圧測定など簡単な健康チエックを行い保健予防活動を体験します。地域の方から医学生への熱い期待も語られ、医師を目指すモチベーションが早くもアップします。



### ●診療科体験企画

小児科、外科、整形外科、救急総合、離島等

診療の様子を見たり、医師としての心構えを学んだりしながら医師の仕事を実際に病院で体験して、医師への第一歩を踏み出してみませんか。

離島医療体験は、鹿児島民医連のルーツでもある離島医療を是非体験して下さい。終了後は医師との交流もあります。



ハートフルな心と知識

# 7月 8月 9月 体験の夏

## ●つどい

### 「民医連の医療と研修を考える医学生をつどい

医学生が全国から集まり、2泊3日で行われます。通称「つどい」と呼ばれ、参加学生だけで200名、医師や看護師などの参加する民医連職員も含めると400名規模となり民医連の医学生企画でも最大級です。全国に仲間を作る大きなチャンスです。昨年は「震災と復興」をテーマに滋賀県で開催されました。

●8月中旬 ●関西地方



## ●夏期離島フィールド

私達、鹿児島民医連は「地理的

**な離島はあっても人の命に離島があってはならない**をスローガ

ンに本土復帰間もない奄美大島で活動を開始しました。離島フィールドは鹿児島民医連の原点である「離島医療」をじっくり見ることが出来る歴史あるフィールド企画です。フェリーで一晩かけて離島へ行き、離島の医療や生活背景をケースワーク(在宅患者の訪問調査)などを通じて学習します。離島診療所や病院で医療にあたる青年医師やスタッ



フが皆さんを待っています。離島医療を学ぶことはもちろん、一緒に行った仲間と将来の夢や医師像を熱く語り明かすのも醍醐味です。

●8月下旬頃

●奄美大島他

●自己負担1万円前後

# 医学生の歩み



第14回九州沖縄医学生をつどい

夏に行われる全国の「つどい」に対し九州沖縄の医学生が集まる九州版「つどい」KOMSAとは「九州・沖縄医学生をつどい」(Kusyu Okinawa Medical Student Association)の略称で50名規模で全国に比べると小規模ですが、学習内容は充実しています。2011年は「被ばくと医療」をテーマに被爆地長崎で開催されました。



10月

11月

12月

成長の秋



## ●KOMSA(コムサ)九州沖縄医学生をつどい

## ●奨学生会議

毎月、桜ヶ丘分室に集まり医師を講師に招いて学習会を行っています。学習テーマを決めて自分たちでもミニ学習会に取り組んだりしています。2011年度は「平和」についての学習を深めました。奨学生だけでなく誰でも参加できるのでもまずは見学だけでも構いませんのでお気軽にお越し下さい。



●毎月第3水曜日18時半

## ●奨学生生活活動報告(全職員集会&新年会)

鹿児島医療生協の全職員集会に参加し、奨学生としての活動報告や、KOMSAで勉強してきた事などを医療生協の職員に発表します。職員と交流を深めるいい機会となっております。



1月

2月

3月

飛翔の冬

## ●病院実習

冬休みや春休み等の期間中に、病院実習に参加できます。それぞれの希望に合わせてカリキュラムを組む事が出来、大卒で勉強した事が実際の医療現場で再確認出来たり、新たな発見が出来たりと、モチベーションアップにも繋がります。病院の先生方との交流も色々なお話が聞けて楽しいですよ。



## ●奨学生合宿

毎月の奨学生会議で学習してきた事を更に深める為に合宿をし、将来も一緒に働く仲間としてお互いの夢を語り合います。2011年度は「平和」をテーマに学習してきました。このテーマに関連して沖縄合宿を行います。もちろん観光もありますよ。



# 学習会

年間を通じて様々な学習会を行っています。  
どなたでもお気軽にご参加下さい。

## 臨床診断学ワークショップ

医師国家試験はあらゆる情報から一つの答えを当てる、いわばクイズです。ところが実際の臨床現場では「患者の訴えからいかに鑑別疾患を挙げられるか」などのようにして情報を引き出し、診断にアプローチするかなどの判断が重要になります。臨床診断学ワークショップでは一問一答では決して得られない力を身に付けるために、臨床にできるだけ即し、模擬患者との医療面接や鑑別診断、臨床疫学を基にした検査オーダー、医療費の計算など一連の診察の流れを参加型の形式で学習します。少しでも「臨体力」を付ける手助けになればと考えています。



## 画像診断セミナー

画像診断について、主に呼吸器、循環器、消化器の3回シリーズで例年行っています。胸部レントゲンの読影、心電図の読解、腹部超音波検査の実技など、各科の医師が準備をしています。大学の授業では分かりにくかった部分も気軽に質問できます。



## CPC(臨床病理検討会)

臨床診断から病理解剖に至るまでの検査結果等の病状経過を医師だけでなく、看護師や薬剤師など関わったスタッフが患者さんや家族の思いまでをまとめた、とても充実した症例検討会です。病理や解剖に興味のある学生さんはどなたでもお気軽にご参加下さい。



# 一日を過ごしているの

2012年1月某日

総合病院鹿児島生協病院  
小児科研修中の1年目研修医  
前村良弘医師の場合・・・

(11年入職/琉球大学卒)



密着取材してみました。

6時30分～7時00分 7時30分～8時15分	<b>起床・出勤</b> <b>早朝抄読会</b> それぞれの気になる英語の文献を持ち寄って意見交換します。ついていくのに精一杯。	
8時15分	<b>医局朝礼</b> 昨夜の当直医の報告を聞き、今日の勤務体制や連絡事項を確認。今日はなんと僕の誕生日♪医局お誕生日セレモニーでプレゼントをもらっちゃいました。こんなアットホームな医局はいいですね♪	 
8時30分	<b>小児科外来朝礼、カンファレンス</b> 小児科外来看護師も参加して各医師の本日の動きを確認。そして当直帯から残っている患者さんのカルテチェックと治療方針確認。 <b>朝礼終了後 小児科回診</b> 救急外来に残っている患児や新生児の回診、病棟処置を行います。 <b>病棟回診</b> 小児科の研修は3ヶ月目。そろそろ小児の点滴にも自信が出てきました。	   
11時00分	<b>指導医によるミニレクチャー</b> 今日のテーマは「重傷患者の状態の把握のポイント」	
12時30分	<b>昼食休憩</b> お昼休みは決まっていません。取れるときに取るが基本！	
14時00分	<b>病棟業務</b> 午後は自分の受け持ち患者さんの診察をしたり、文献を読んだり、学会発表の準備をしたりしています。乳児健診や予防接種をする事もあります。	
17時30分	<b>小児科カンファレンス</b> 1週間の受け持ち患児の経過を報告します。時には症例を題材に疾患の勉強会を準備して行っています。(この日はカンファレンス途中で心肺停止の患者さんが救急搬入されてその対応に行きました。)	
18時30分	自宅へ帰宅し、当直に備えて1時間程仮眠をとりました。	
22時30分～翌8時15分	<b>深夜当直</b> 病棟にはベテラン医師が勤務していますが、救急外来には一人っきり。。。かなりドキドキしたけどだいぶ慣れてきました。やはりこの時間が一番勉強になります。この日は救急車1台、walk inは10人で1時間程仮眠がとれた平和な夜でした。	





# 研修医はどんな

2012年1月某日



総合病院鹿児島生協病院  
内科研修中の2年目研修医  
中田千香子医師の場合…  
(10年入職/島根大学卒)

6時30分～7時00分 7時30分	<p><b>起床・出勤</b></p> <p><b>ICUカンファレンス</b></p> <p>2011年から行っており、院長も参加しICU入室中の患者さんだけでなく小児科、整形外科疾患など幅広くカンファレンスしています。勉強していたつもりでも理解していない事がまだまだあるなと反省する毎日です。2年目ともなればそろそろ司会も回ってきそうだな…</p>	
8時15分	<p><b>医局朝礼</b></p> <p>昨夜の当直医の報告を聞き、今日の勤務体制や連絡事項を確認。当直明けの朝は救急外来に朝まで残っている患者さんの報告を行います。短時間で解りやすくプレゼンする練習にもなっています。</p>	
8時30分	<p><b>朝カンファレンス</b></p> <p>前日の内科入院となった患者さんのプレゼンを行います。自分が診たこともない患者さんのプレゼンをする事は難しく、最初の頃は正直ストレスでした。消化器、呼吸器、腎臓、循環器など各科の先生からアドバイスを頂きます。</p>	
9時45分	<p><b>病棟処置業務、回診</b></p> <p>動脈採血、尿道バルーンカテーテル挿入、経管栄養チューブ挿入、気管切開された方のカニューレ交換等を行います。入職から半年間の手技が安定するまでは、緊張の毎日でした。看護師さんとの連携も大切ですね！</p>	
12時00分	<p><b>救急車対応</b></p> <p>救急研修ではもちろんですが、内科研修や他科研修中でも救急外来は絶好の研修の場です。</p>	
13時00分～	<p><b>昼食・休憩</b></p> <p>順調に午前の業務をこなせた場合は12時～13時に休憩です。遅くなることもしばしばあります。朝ごはんは大事!!ですね。</p>	
14時00分～	<p><b>カルテ記載、書類記載</b></p> <p>診断書など、実は書くべき書類はたくさんあるんですよ～。普段は病棟業務をしているので時間外に記載することが多いです。</p>	
15時00分	<p><b>総合内科カンファレンス</b></p> <p>金曜日の午後に行っており、1週間の担当患者さんの経過をプレゼンします。毎日指導医とも検討していますが、より多くの医師とディスカッション出来て勉強になります。</p>	
17時30分	<p><b>とりあえず終了…</b></p> <p>時には夕方、医局でワイワイ言いながら鍋を食べたりもしています。皆で食べる鍋はやっぱりいいですね。</p>	
<p>その他にも毎月開催している「高校生一日医師体験」で高校生に病棟回診や処置を見て頂いたり、質問に答えたりしています。昔の自分を思い出しながら、新鮮な気持ちになりますね。</p>		

# 春期実習 ● 参加学生募集

鹿児島民医連では、春休みに病院実習に参加される医学生を募集しています。鹿児島生協病院をはじめ、各施設で1年生から実習生を随時受け入れていきます。研修医体験や、各科の医師についての実習はもちろん、スタッ



## 鹿児島生協病院 ● 実習プログラム例

### 例① 研修医同行体験

1日目

2日目

午前	8:00	病院医局集合 実習オリエンテーション	8:15	医局朝礼参加
	8:15	医局朝礼参加	8:30	実習感想文記入後終了
	8:30	朝カンファレンス参加 研修医体験 (研修医同行)		
	12:30	午前終了		
昼	12:30	昼食		
午後	14:00	内科カンファレンス		
	16:00	研修プログラム説明		
	17:00	午後終了		
夜間	22:30	深夜当直		



フ全員で医学生の実習をサポートしており、コミュニケーションスタッフについての実習も体験出来ます。お気軽にお問い合わせ下さい。



### 例② 気管支内視鏡+訪問看護体験

午前	8:00	病院医局集合 実習オリエンテーション
	8:15	医局朝礼参加
	8:30	気管支内視鏡見学
	12:30	午前終了
昼	12:30	昼食
午後	14:00	訪問看護同行
	17:00	研修プログラム説明
	17:30	実習感想文記入後終了



# あなたの「夢」を サポートします

医者を目指した頃の夢へ近づいていますか？  
患者さんや医療スタッフと共に学び、  
一緒に夢を実現しましょう！

## 地域のなかで学び成長する 奨学生募集



- 月額 **10**万円/月(全学年)  
※2011年4月1日から
- 対象 日本国内の医科大学・  
大学に在籍する医学部  
医学科生で、鹿児島民  
連の医療に参加される  
意志をもった方。
- 返済義務の免除もあります。
- 随時対応しております。

お問い合わせや申し込み等の詳細はwebで

鹿児島生協病院 奨学金

検索

病院実習も随時受け入れてます

### ● お問い合わせ

鹿児島民医連 医学生担当 TEL/099-266-1531 Fax/099-266-1530 E-mail/igakusei@kagoshima-min.jp

厚生労働省指定 基幹型臨床研修病院 **鹿児島民医連**

**総合病院 鹿児島生協病院**

〒891-0141 鹿児島市谷山中央5-20-10



# 雷に打たれて



国分生協病院  
腎臓内科  
医師 上村 寛和  
(’91年入職/鹿児島大学卒)

鹿児島協病院の前で咲き誇る桜に、暖かな光が降り注ぐ。そんな季節を迎えると、いつも心が躍ります。今年は、どんな新たな出会いがあるのでしょうか。

私は、医者になって20年目を迎えました。医学部に入学したのは、バブル崩壊前(産まれる前の方もたくさんいるでしょう)の1986年でした。医学部入学前まではお坊ちゃん育ちで、バブルの影響もありませんでした。この日本に生活が苦しい人がいるなんて事は想像もしていませんでした。

高校生の頃の私は、存在意義を見失い、生きている事にさえ、疑問を感じていました。今の私が主治医なら、抗うつ薬を処方しているかもしれない程、悩みながらの高校時代でした。

そんな時、ネパールで医者をしている先生の講演がありました。雷に打たれたような衝撃だったなあ。

「医者になって、私が必要とされている所で、生きていきたい。」

そう思った私は、ネパールなどの外国に行つて、医療過疎のところまで医者になりたいと思つて医学部へ入学しました。

ワクワクしながら入学した鹿児島大学で、新入生向けの色々な企画に参加しました。その中でも、徳之島で行つた離島(以下は私の人生をすっかり変えてしまいました)の一人暮らしのお年寄りの所で、一人暮らしのお年寄りの所でした。古いボロボロの家に家具は冷蔵庫しかなく、冷蔵庫の中も卵が1個あるだけでした。その方の生活を、診療所の看護師さんや事務の方が、ボランティアで援助して暮らしていました。今のような介護・福祉サービスも無い時代の事です。

この最終日を迎え、島の人たちと交流会がありました。徳之島の住民の方々は、小さな診療所に絶大な信頼を寄せ、職員も医師も

やり甲斐に満ちた表情をしていました。

「いつか島で医者をして下さいね」

そんな言葉ももらい、日本の中にも私の生き甲斐を感じる所があると、2回目の雷に打たれました。更にこの「雷」を経験して、色々な疑問が湧いてきました。

「何で貧しい人がいるんだろう？」

「どうしたら、助けてあげられるんだろう？」

医学を学ぶ前で、時間も今と違いたつぷりある教養時代でした。医学の勉強以上に、社会の何故ナゼ?に関心が向いていました。

学生時代に友人や先輩と学び語り合つた、「社会の疑問や物の見方、考え方」そして「どんな医者になりたいか?」「どんな医療をしたいのか?」が今でも私の原点であり、困難を乗り越える原動力になっています。

学生時代に何を学んだのか?

3回目の雷は、「社会の仕組みと物の見方・考え方」を医学部の先輩から学んだ時でした。高校生時代は、教科書に書かれている事は、全て正しい事と思つていました。本も全て、何の疑問も持たず読んでいました。考えるのではなく、記憶する教育が染みついていたらとも言えます。

物の見方・考え方は、実は教師から学んだ事はありません。医学

部6年間の授業でも、きちんと教わった事はありません。

先輩から学んだ事は2つの内容でした。一つは、当たり前と言えは当たり前ですが、簡単に言えば「原子などの物質的な構成要素とその要素間の相互作用によって、森羅万象が説明できる」とする考え方(いわゆる**唯物論**)です。



私が医学部時代に、オウム真理教という団体が、地下鉄サリン事件というテロみみたいな事件を起こしました。この宗教団体には、多くの医者も参加していました。「人が空中に浮かぶ」という事を本気で信じ、洗脳されていました。

私はカトリック系の学校に中学高校と通つていましたし、今でも心の平静や困難にぶち当たった時の宗教の必要性を、否定するわけではありません。しかし、神様の存在を信じるかと言われれば、唯

物論的観点からは、存在を積極的  
に支持する根拠はない」と答えるで  
しょう。

仮説を立て、実証していく事  
のみ科学は発展するのであって、  
信じるか信じないかはまさに心の  
問題です。「UFO」や「ゆうれい」  
がないと証明する事は、とても  
困難な事です。だからこそ、この  
手の話はなかなか無くなりませ  
ん。西郷さんの銅像が振り向いた  
の、こつくりさん(今でも名称を  
変えたりして、遊ばれている所も  
あるようですが)で占ったのだ、小  
学時代も数多くの怪奇現象が噂さ  
れていました。「アストラダムス  
の予言」などは、ベストセラーにな  
った事もあります。(実は私も少  
信じていて、30歳過ぎたら死ん  
じやうんだらうなあ…なんて思っ  
ていました。1999年を過ぎたら  
解釈を変えて、また警鐘を鳴ら  
している人たちもいるようですが…)。  
しかし、唯物論を学んでからは、  
きちんと整理して理解する事が出  
来るようになりました。

医者になって、この事はとても  
役に立っています。医学論文の検  
証の方法もそうです。患者さんの  
健康食品についての質問などにお  
答える時などでも役に立ってい  
ます。時々「みのもんた」の影響  
には負けてしましますが、科学的  
根拠のある知識を伝える事の重要  
性を痛感しています。最近優れた

著書も数多く出ているので、読ん  
でみて下さい。

最近脳科学が大流行ですが、  
これにも警鐘が鳴らされています。  
テレビでは、脳科学者という肩書  
を付けた人々が、まだ実証もさ  
れていない現象を垂れ流します。

飲むヒアルロン酸などの健康食  
品のコマーシャルは、「科学的根拠  
のない物を、いかに科学的に見せ  
るか？」の手法が満載で、勉強にな  
ります。一方で、テレビの怖さを  
痛感する時でもあります。

最近ようやく科学者たちが、こ  
のような手法を「ニセ科学」と呼  
んで、問題点を指摘するようになっ  
てきました。しかし、テレビの圧  
倒的な宣伝力にはなかなか歯が立  
ちません。大事な収入源であるス  
ポンサーですから…問題点を指摘  
するテレビ番組が、出来るはずも  
ありません。

今は情報化社会で、氾濫する内  
容から、正しい事柄を抽出する事  
はとても大変です。だからこそ科  
学的に実証されている事をきち  
んと見分ける努力が必要です。イ  
ンターネットや「Wikipedia」は本  
当に便利な道具です。しかし、ニセ情  
報(悪意があるかどうかは別にして)  
が、数多く紛れているので、慎重  
にならなくてはなりません。

医学の常識も、10年すると変化  
します。予防接種をした後は、「採  
まなくても良い」とか、「お風呂に

入っても良い」など、つい最近変  
わりました。「風邪を引いたら、  
お風呂はダメよ」とか、「イソジ  
ン」がい「なども、今後は根拠がな  
い指導として変わってくると思っ  
ています。

唯物論とは、「分からない事を、  
神様など証明しようのない、神秘  
的な力として誤魔化すのではなく、  
少しずつ事実を積み重ね、真実を  
探求する学問」と私は理解してい  
ます。解明されていないことがた  
くさんあるのは当然です。日本で  
最初のノーベル賞学者の湯川秀樹  
博士は、有名な唯物論者でした。  
中間子理論は、その中で生まれ  
きたと言われています。

私の娘が小学校1年生のころ、  
「サンタさんに、プレゼントをお  
願いする」と言って手紙を持って  
きました。

「プレゼントをあげるのは、サン  
タではなくて、パパですが…」と  
う伝えると、娘は泣きながら、**夢  
がなくなつた**と抗議してきました。

この話は、多くの人々に非難さ  
れますが、私は今でも「真実を伝  
えることが重要」と思っています。  
メルヘンチックなことを否定して、  
事実を伝えることは、夢を壊す行  
為ととられがちです。でも、  
私は一応科学者なので、「今まで  
分からなかったことが、新たに解  
明されていくこと」に夢を抱きた  
いと思っています。

先輩からは、3日間かけて講義  
をしてもらいました。物の見方・  
考え方のもう一つの重要な柱「弁証  
法的思考」、社会を理解する上で欠  
かせない「物の価値は何で決まるの  
か?」などの話は、またの機会に…。  
医師は、医学知識だけではつと  
まりません。常に社会の中で活動  
をし、そこに大きな影響を与えて  
います。人間としての成長も、重  
要です(私も日々勉強です)。忙し  
い(過ぎる)医師の生活の中で、学  
び続ける事は大変な事です。正し  
い学びが出来るよう、色々な事に  
目を向けて、充実した学生生活を  
送ってください。



#### 参考文献

- 1 阪神田「すべり台社会」からの脱出  
 湯浅 誠著 若菜新書
- 2 「笑って死ぬる病院」  
 テレビ第六編「フニックス」の最新書
- 3 メディア・バイアス  
 あやしい健康情報とニセ科学  
 松永和紀著 光文社新書
- 4 科学と非科学の間  
 安藤昌弘著 ちくま文庫
- 5 「ちくま」されないための「科学」講座  
 栗池 誠 他 光文社新書

# 徳之島からの メッセージ



徳之島診療所  
副所長

医師 太田 健

(08年入職/関西医大卒)

## あなたも一度離島医療を体験してみませんか？

私は研修医4年目で、2011年4月から徳之島診療所で勤務しております。

まずは島の紹介をさせて頂きます。徳之島は鹿児島から南へ約500キロ、沖縄より少し北の海に浮かぶ人口2万7000人の島です。かつて歴代長寿世界一だった泉重千代さんと本郷かまどさんを生んだ島で、あの高橋尚子選手がトレーニングをする島でもあります。青い空と青い海、緑のさとうきび畑と自然が豊かで、そこに暮らす人々ものんびりしていて、とってもいいところです。(ただし、闘牛と選挙の季節は島中が熱くなるのですが...)。

学生のみなさんは、離島診療所というDr.コトーを想像されると思いますが、ここでの医療もドラマ同様、命の重さをひしひしと感じさせる医療です。

小児から成人、高齢者まで、あらゆる年齢の患者に対応し、1日外来患者数80人前後(時には嵐のように患者さんが押し寄せる日も)、病棟、訪問診療、往診などを行っています。



外来では、かせなどの急性疾患に始まり、慢性疾患(高血圧、糖尿病等)のマネジメントを中心に行っています。

時には言葉の壁があり診察室での会話が困難な時もありますが、地元の看護師による通訳があり問題ありません。町が3つあり、それぞれで微妙にイントネーションが違うのでさらに困ります。

ここで研修してから少し感じられるようになったのは、臨床センスです。かせを100人以上見ると、中にはかせ以外の病

気が隠れていたり、手の皮膚がなんかおかしいとのこと入院精査したら10万人に5人の病気の人がいたり、と森を見ているようで実は木を見分けられる、そういった実力が自然と養われるフィールドであるような気がします。

離島医療に興味のある君！全く興味が無いというあなた!!とりあえず是非見学にきてください。

続きはweb上。

<http://www.tokushin1965.jp/>



# 桜ヶ丘分室へようこそ

鹿児島民医連は鹿児島大学医学部近くに「桜ヶ丘分室」を設置し学生の皆さんの憩いの場、学習の場を提供しています。毎週行われている昼食会や、学習会、ちょっと一息休憩の場として、学生たちの笑いの絶えない明るい分室となっています。

## 桜ヶ丘分室へ いざ出発



鹿大医学部前 桜ヶ丘分室  
〒890-0075 鹿児島市桜ヶ丘8-22-6  
TEL 099-264-5475

## 昼食会

(毎週火曜日開催中)

担当職員が、手作りの料理を振舞いにぎやかに食事を楽しんでいます。野菜不足をココで補ってみては？



## アクセス編集後記

春は新たな出会いが多く、心もドキドキワクワクし、何か新しい事に挑戦してみたくなりますね。新入生の皆さん、沢山の友達や先輩と充実した大学生活を送って、色々な事に挑戦して新しい自分を発見して下さい。私達も皆さんとの出会いを楽しみにしています。そして一緒に新しい自分探しをしたいと思います。一緒に頑張らしましょう。

アクセスのご感想もお待ちしています。

# ホームページの紹介

まずはアクセスしてみてください!  
鹿児島民医連の活動や各種企画の案内等がご覧頂けます。

ホームページURL <http://kagoshima-min.jp/>

鹿児島民医連

検索

鹿児島民医連  
ホームページへ  
アクセス



## 研修医奮闘記(ブログ)

鹿児島生協病院レジデントルームより、  
日常の出来事や、奮闘記、医学生向けの  
情報発信などご覧いただけます。  
是非一度覗いてみて下さい。

研修医奮闘記  
ブログへ  
アクセス!



編集/鹿児島県民主医療機関連合会

発行日/2012年1月

〒891-0141 鹿児島市谷山中央5丁目4-12

TEL.099-266-1531

FAX.099-266-1530

<http://kagoshima-min.jp/>

E-mail.igakusei@kagoshima-min.jp

## 民医連綱領

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の  
実現をめざす組織です。

戦後の荒廃のなか、無産者診療所の歴史を受け  
つぎ、医療従事者と労働者・農民・地域の人び  
とが、各地で「民主診療所」をつくりました。そ  
して1953年、「働くとびとの医療機関」として  
全日本民主医療機関連合会を結成しました。

私たちは、いのちの平等を掲げ、地域住民の切  
実な要求に応える医療を実践し、介護と福祉の  
事業へ活動を広げてきました。患者の立場に立  
った親切でよい医療をすすめ、生活と労働から  
疾病をとらえ、いのちや健康にかかわるその時  
代の社会問題にとりくんできました。また、共  
同組織と共に生活向上と社会保障の拡充、平和  
と民主主義の実現のために運動してきました。  
私たちは、営利を目的とせず、事業所の集団所  
有を確立し、民主的運営をめざして活動してい  
ます。

日本国憲法は、国民主権と平和的生存権を謳い、  
基本的人権を人類の多年にわたる自由獲得の成  
果であり永久に侵すことのできない普遍的権利  
と定めています。

私たちは、この憲法の理念を高く掲げ、これま  
での歩みをさらに発展させ、すべての人が等し  
く尊重される社会をめざします。

- 一、人権を尊重し、共同のいのちと健康を  
守ります
- 一、地域・職場の人びとと共に、医療機関、福祉施  
設などの連携を強め、安心して住み続けられ  
るまちづくりをすすめます
- 一、学問の自由を尊重し、学術・文化の発展に努め、  
地域と共に歩む人間性豊かな専門職を育成します
- 一、科学的で民主的な管理と運営を貫き、事業所を  
守り、医療、介護・福祉従事者の生活の向上と  
権利の確立をめざします
- 一、国と企業の責任を明確にし、権利としての社会  
保障の実現のためにたたかいます
- 一、人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に  
反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守ります

私たちは、この目標を実現するために、多くの  
個人・団体と手を結び、国際交流をはかり、共  
同組織と力をあわせて活動します。

2010年2月27日

全日本民主医療機関連合会 第39回定期総会